

平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	2016/7/19	連携先名称	長野県小県郡青木村
活動状況	継続中	連携先窓口	—
活動資金		担当教員(所属)	鈴木貢次郎 (造園科学科)
活動体制 (単位)	学科	関連教員(所属)	
活動内容	<p>日本の文化を体験的に学習するために来日したホフストラ大学 (アメリカ合衆国) の学生と教員が、長野県小県郡青木村で農業体験を行った。ホフストラ大学の学生を引率したパトリシア・ウエルチ教授は、比較文化文学の中でも特に日本文化・文学を専門にしており、特に近年は、首都「東京」をとりあげて日本の歴史、風土、文化を学ぶ「東京学」を提唱している。3週間の研修のうち、多くは東京で学習するが、集権体制が成立する地域との関係を学ぶことも重要である。その研究・教育授業の一環としてホームステイを通して農村生活を体験した。また教育学を目指す学生も来日していることから、教育事情を学ぶために保育園での実習も体験した。参加者は、ホフストラ大学12名、東京農業大学造園学専攻大学院生1名、造園科学科生2名、教員3名であった。主な活動内容は次の通りであった。</p> <p>7月1日 馬肉うどんの試食 東山道、名所観光 受入式：北村村長講話 (記念撮影)、農家体験受入農家との顔合せ</p> <p>7月2日 そば打ち体験、義民太鼓体験 (武道館、義民太鼓保存会)</p> <p>7月3日 保育園指導体験、図書館・歴史文化資料館等見学 退村式</p> <p>なおホフストラ大学学生分の宿泊費や交通費などは、ホフストラ大学側で負担、東京農業大学側は東京農業大学側で負担した。</p>		
活動成果	<p>世界を代表する大都会のアメリカ合衆国ニューヨークの大学から日本の文化を学ぶために来日し、農山村地域における農業体験や宿泊を体験できた。日本人でもなかなか体験のできない農家での宿泊を、全く異なる習慣をもつ留学生が楽しく有意義に過ごすことができたことは意義深い。</p> <p>畑での軽作業、そばうち体験、蛍の観察、和太鼓演奏体験などを通し、農山村だからこそその人の親切心などは、言葉の壁を越えて留学生に伝わった様子であった。東京農業大学だからこそその地域交流ができた。青木村職員の方々、宿泊した農家、イベントを支えて下さった関係者各位に感謝申し上げると共に、村内の方々の協力性に感銘を受けた。</p>		
課題・改善点	<p>日本の文化を体験的に学習できたとしても、その本質を理解するためには長時間をかける必要がある。今後、その背景や歴史をどのように説明し、文化の違いを理解するようにするのが課題である。また短期留学生にとっては多くの学習ができたものの、日本人側の学生にとってもさらに農産地域での体験を通して学習ができるようなシステムが必要である。今後は、東京農業大学の学生が多く参加し、共に学習成果が生まれるようにしたい。</p>		



平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	平成28年7月19日	連携先名称	長野県小県郡青木村
活動状況	継続中	連携先窓口	青木村役場、農村開発協力研究室(国際農業開発学科)
活動資金	研究室予算、学科予算、自治体予算	担当教員(所属)	飯森文平(国際農業開発学科 農村開発協力研究室)
活動体制(単位)	研究室(単位なし)。 一部、学科授業(単位あり)。	関連教員(所属)	山田隆一・杉原たまえ(国際農業開発学科 農村開発協力研究室)
活動内容	<p>【実習】研究室の実習班の一つに、青木村班を配置し、希望する学生が実習に参加する(単位認定なし)。教員も可能な限り引率するようにしている。実習は、基本的に金曜日～日曜日の2泊3日で行う。実習先は、蔬菜、果樹、花卉などの農家、狩猟組合、道の駅、新規就農者、福祉事業所など多岐にわたる。青木村役場地域農業マネージャーの清水真巳様が、訪問先の調整など全てご対応いただいている(別添1)。以下、2018年度の実習実績。</p> <p>①6月1日～3日(教員:飯森 学生:6名):エゴマ定植、ニンニク収穫など(役場試験圃場)、野菜、果樹(農家実習)</p> <p>②7月13日～15日(教員:飯森 学生:5名):エゴマ管理(役場試験圃場)、果樹、野菜(農家・農民グループ実習)</p> <p>③7月27日～29日(教員:飯森 学生:7名):エゴマ管理、ニンニク出荷調整(役場試験圃場)、杜仲、野菜、果樹、花卉(農家・農民グループ実習)、夏祭り参加</p> <p>④10月19日～21日(教員:杉原・飯森 学生:6名):エゴマ収穫・脱穀・選別・洗い</p> <p>【調査】</p> <p>①5月3日(教員:飯森 学生2名):道の駅利用者アンケート(前年度からの継続調査で3回目となる)</p> <p>②9月1日～4日(学生:5名):ライフヒストリー調査(調査結果は2018年度東京農業大学収穫祭文化学術展にて発表)</p> <p>③2019年3月30日～31日(教員:飯森 学生3名):山の資源管理と利用に関する調査</p> <p>【卒論調査】学生3名が複数回実施(調査結果は2018年度卒業論文としてまとめる)</p> <p>【授業】5月25日～26日(教員:杉原・飯森 学生:20名):「農村開発調査論」の一環で調査を実施(単位認定有。別添2)</p> <p>【セミナー】青木村において、連携活動報告会を定例的に年度末に行っている(2018年度で3回目の開催)。セミナー開催は広報で呼びかけ、連携活動成果を住民の皆様へ還元することを目的に実施している(別添3)。</p> <p>2019年2月14日(教員:山田・飯森 学生:11名)</p>		
活動成果	<p>1. 卒業論文(指導:飯森)</p> <p>①井上裕貴「青木村における地域組織を通じた福祉づくり」</p> <p>②塩崎萌子「利用者アンケートから見る「道の駅あおき」の課題と展望」</p> <p>③四戸美希「地域における漬物」</p> <p>2. 収穫祭文化学術展</p> <p>青木村での実習や調査を通じ、中山間地域の抱える諸問題について研究室の研究課題として取りくみ、「日本一住みたい村青木村で未来の農村を考えてみた!」というテーマで発表をした。</p> <p>3. 「東京農業大学 信州・青木村セミナー」の開催</p> <p>青木村にて連携活動の年度総括を行った。セミナーは2018年度で3回目の開催となる。</p> <p>4. 連携商品の販売</p> <p>学生が生産・調整作業に関わったえごま油を東京農大生協において販売(2300円/本)。搾油は、農大の地域連携先である長野県長和町の長和雑穀研究会(立岩先生主催)に青木村が協力を仰いで行っている。なお、2018年度産えごま油の商品名として2017年度セミナーにおいて学生が提案した「青葉のしずく」が採用された(別添4)。</p> <p>5. 研究報告書および写真集の発行(長野県 地域発 元気づくり支援金活用事業)(別添5)</p> <p>①『東京農業大学 信州・青木村セミナー報告資料』:2016年度～2018年のセミナーにおいて学生が研究報告したスライドを報告書としてまとめた。各年度1冊ずつまとめられている。</p> <p>②『東京農業大学 青木村調査研究 実録集』:青木村を調査フィールドとした卒業論4本を収録し報告書としてまとめた。</p> <p>③『東京農業大学生が見つけた信州・青木村の宝』:写真集</p>		
課題・改善点	<p>北村政夫村長はじめ村役場の方々や住民の皆様のご支援により、大変充実した活動を実施させていただいている。訪問時には、毎回欠かさず北村村長による講話が行われる。宿泊と入浴に関しては村のご厚意により村の施設を無料で利用させていただいている。また、最寄り駅から村までおよび村内の移動も村のご支援を受けている。訪問先などの選定も、清水地域農業をマネージャーを中心に周到にご準備いただき、毎回非常に恵まれた環境で活動させていただいていることに大変感謝している。</p> <p>連携活動を継続していく上での課題は、昨年度から引き続き費用の確保と連携内容の深化であると考えている。費用については、研究室内の予算に加え、2017年度から学科の協力も得ている。また、2018年度は村が県へ申請した支援事業(長野県 地域発 元気づくり支援金活用事業)の予算によってこれまでの研究活動報告書および写真集を発行していただいた。今後、活動内容を深めていくためには外部資金などの申請を積極的に行わなければならないと考えている。連携内容については、学生の実習・研修に加えて、研究成果の村への還元にも一層注力する必要があると考えている。ただし、村が抱える課題には一研究室ではカバーできない内容が多々あるため、連携を深化させるうえで農大内での多様な連携とそれを統括するような仕組みづくりが学内に必要なのではないかと考えている。また、現在は大学から村へ訪問する形での交流が多いが、例えば村の特産品など(村自体のこともそうであるが)を広く周知したり販路の拡大などを考えた場合には、逆の形での交流(村から大学(東京))の充実も必要と感じている(なお、2018年度は農大の収穫祭期間に合わせて、「食と農」の博物館にてJA上田と共同で物販会を実施した。また、2019年度に入ってから、青木村の住民グループによる食講座と物販を「食と農」の博物館で開催した。今後はこうした活動をいかに充実させていとも考えていきたい)。</p>		

別添 1

: 実習日程表（10 月実習を除く）

東京農業大学 青木村研修計画(6月班)

- 1 期日 平成30年6月1日(金)～3日(日)
- 2 宿舎 青木村 かつろぎの湯隣 青木村交流ハウス
- 3 参加者 学生6名(男性2名、女性4名)、教員1名

日時	農家等場所	内容	学生名	食事	村対応者
6/1(金) 11時着上田駅 11時50分着	上田駅発 11時10分		全員	弁当8食	清水 M レコ-6名(飯森)
	(昼食) ☎0268-49-0111 役場2階 会議室1				
	13時 ～13時30分	【受入式】	北村村長講話	村長、課長、増田、宮入清水 M	
14時～17時 17時30分	農技連圃場 入奈良本	エゴマ定植 (定植機:手植え)	全員	弁当6食	レコ-6名(飯森) 軽トラ(清水) 野中隊員、宮入主事
	交流ハウス	(夕食:入浴)			
6/2(土)7時 8時30分発 ～11時30分 13時 ～16時30分 17時30分	交流ハウス	(朝食)(風呂清掃)	全員	弁当6食	
	農技連圃場 入奈良本	ニンニク収穫	全員		バネット5名(清水) 軽トラ1名(野中隊員)
	役場2階 会議室1	(昼食:打合せ)	全員	弁当7食	
	農技連圃場 入奈良本	ニンニク収穫	全員		バネット5名(清水) 軽トラ1名(野中隊員)
	交流ハウス	(夕食:入浴)	全員	弁当6食	
6/3(日)7時 8時30分発 ～12時 13時30分 ～14時 14時30分～ 15時20分 15:20 青木発 16:08 上田発	交流ハウス	(朝食)片づけ・清掃 (風呂清掃)	全員	弁当6食	清水 M、野中隊員
	A班2名 田 中伸作園	(フラワーファーム沓掛隣) トマト定植	2名		田中園送迎→役場へ
	B班 2名 堀内農園	鶏小屋整備、雑草 管理等	2名		堀内農園送迎→役場へ
	C班2名 上 原ブドウ園	ぶどう管理作業	2名		上原農園送迎→役場へ
	(昼食)役場2階会議室1		全員	弁当7食	
	交流ハウス	清掃・荷物			ワゴン6名(清水 M)
	【調査】道の 駅あおき	道の駅調査・買物			
	青木村出発				
上田駅発				高速バス	

東京農業大学 青木村研修計画（7月班）

- 1 期日 平成30年7月13日（金）～15日（日）
 2 宿舎 青木村 くつろぎの湯隣 青木村交流ハウス
 3 参加者 学生5名（男性5）、教員1名（飯森助教）

日 時	農家等場所	内 容	学生	食事・服装	村対応者・車
7 / 13(金)12時 12時～12:45 13時～13:15 13:30～17時 17:30～	青木村役場着		全員		いんた-6名（飯森）
	（昼食）役場2階 会議室1			弁当7食	
	【受入式】村長講話				村長、課長、増田、
	交流ハウス（荷物を収納）			帽子、タオル、	いんた-5名（飯森）、
	農技連圃場	エゴマ除草等 （管理機、ビ-パー）		長袖、水	軽トラ1名（清水） 清水
	交流ハウス	（夕食）	弁当6食		
7/14(土)7時	交流ハウス	（朝食）風呂清掃	全員	弁当5食	
7時50分発 ～11:30 12時～12:45 役場宿直前発 14:00～17:00	A班 3名	ぶどうの摘粒	男子 3	長袖、長靴	公用車3名（清水）
	岩下果樹園	（当郷公民館下の園）	名	帽子、タオル	
	B班2名	やってみる会（清水	男子 2	長袖、長靴	遠藤車2名
きたい会	香志子さん圃場）ばれ	名	帽子、タオル	交流ハウス→役場	
		いしよの収穫			
	（昼食） A班 3名は岩下さん宅、B班2名は役場2階 会議室 弁当6食				

交流ハウス着 17:30～	A班 3名 岩下果樹園	ぶどうの摘粒 (当郷公民館下の園)	男子 3名	長袖、長靴 帽子、タオル	公用車 3名 (清水)
	B班 2名 上原農園	ぶどうの摘粒 (田沢温泉下の園)	男子 2名	長袖、長靴 帽子、タオル	上原車 2名 役場→交流ハウス
	交流ハウス	(夕食)	全員	弁当 5食	
7/15(日) 7時	交流ハウス	(朝食) 風呂清掃	全員	弁当 5食	ワゴン 6名 (清水)
8:30発～	役場駐車場	ニンニク出荷調整			
11:30	(昼食) 役場 2階会議室 1			弁当 6食	
12:00～13:00	文化会館	ハチ講座 (小川原			
13:30～14:30		昆虫資料館名誉館長)			
14:30～15:00	交流ハウス	清掃・荷物、入浴			
15:45 青木発	【調査】道の駅あおき等	道の駅調査・買物 ふるさと公園調査			
16:36 上田発	青木村出発				
	上田駅発		新幹線あさま 626号 又は高速バス		

東京農業大学 青木村研修計画 (7/27 班)

1 期日 平成30年7月27日(金)～29日(日)

2 宿舎 青木村交流ハウス(青木村 くつろぎの湯隣)

3 参加者 学生7名(4学年:男性3名、女性4名)、飯森助教

日時	農家等場所	内容	学生	食事・服装	村対応者・車
7/27(金)11:50	道の駅あおき着 11:50		全員6名	冷やしそば 7食(清水含む)	リカ-6名(飯森)
11:50～12:50	(昼食)道の駅あおきこまゆみ 食堂				村長、課長、青木
13:00～13:30 <small>役場正面玄関発</small>	役場2階	【受入式】			リカ-5名(飯森)
	会議室5	村長講話			
13:45～17:30	交流ハウス	着替え			軽トラ1名(清水)
17:30	農技連圃場	えごま間引き・追肥・土寄せ・摘芯			弁当7食
	交流ハウス	(夕食・入浴)			
7/28(土)7:00	交流ハウス	(朝食)風呂清掃		弁当6食	
7:50 発 ～11:30	A班3名 <small>青木村NIきたい会</small>	杜仲、野菜収穫	3名	長袖、長靴 帽子、タオル	リカ-3名(飯森) ワゴン車4名(清水)
	B班3名 岩下果樹園	ぶどうの袋かけ(当郷公民館下の園)	3名	長袖、長靴 帽子、タオル	交流ハウス→圃場→ワゴン車で役場へ
	(昼食休憩)役場2階会議室5		全員	弁当9食(安齋君、清水含む)	リカ-3名(飯森)

12:00～13:30	新規就農者調査（花卉）			帽子、タオル	ワゴン車 4 名（清水）	
【夏祭り】大根踊り （往路徒歩：役場→総合運動公園） （復路徒歩：運動公園→バスターミナル、ワゴン車：バスターミナル→交流ハウス）						
14:00～15:30	交流ハウス	（夕食・入浴）	全員	弁当 8 食		ワゴン車 7 名（清水）
役場集合 16:00						バスターミナル待機 花火見学 19:50～20:30
16:30～18:30						
交流ハウス着 18:50						
7/29(日)7:00	交流ハウス	（朝食）風呂清掃	全員	弁当 7 食	荷物はワゴン車に乗せる	
		清掃・荷物→退去				
8:30～11:30	A 班 3 名 田中紀子園	紀子のトマト収穫	3 名	長袖、長靴 帽子、タオル	田中車 3 名→圃場→役場	
8:30～11:30	B 班 3 名 役場駐車場	ニンニク出荷調整	3 名	タオル、水	ワゴン 3 名（清水）→役場マイカー駐車場	
12 時～14 時	（昼食）役場 2 階会議室 5			弁当 8 食		
14:30～15:45	【調査】道の駅あおき等	道の駅調査・買物 ふるさと公園調査			レッカー 6 名（飯森） ワゴン（清水）	
15:45 青木発	青木村出発					
16:36 上田発	上田駅発				新幹線あさま 624 号	

別添 2

: 「農村開発調査論」 日程表

東京農業大学「農村開発調査論 in 青木」計画

- 1 期 日 平成30年5月25日(金)～26日(土)
 2 宿 舎 青木村当郷交流センター(ファミリーマート隣)
 3 参加者 学生20名(男3名、女17名)、教員2名

【日 程】

日 時	調査場所	内 容	学生	食 事	村対応者
5/25 (金)	(集合) 上田駅お城口		全員		清水
11時30分					杉原ㄥㄥ車 名
12時着	(昼食) 道の駅あおきこまゆみ			そばタチア	飯森ㄥㄥ車 名
～12時50分	食 堂 ☎ 0268-49-0333			カネ23食	ワゴン8名(清水M)
13時～14時	国宝大法寺三重塔調査			拝観料 300	
14時	【農家調	堀内農園		円	
～15時30分	査】 下奈良本				
16時30分	【受入式】	北村村長講話			
～17時	役場2階研 修室				増田主事、宮入主事 青木主事、清水M
17時30分	当郷交流セン	(夕食)		弁当22食	2交代で入浴
～20時	ター くつろぎの 湯	(入浴)		500円	

5/26(土)7時	当郷交流センター	(朝食) 当郷交流センター	全員	弁当 20食 500円	杉原レンタ車 名
8時30分発		センター片づけ・清掃			飯森レンタ車 名
9時	【経営体調	フラワーファーム沓掛		ワゴン8名(清水)	
～10時30分	【調査】田沢圃場	標高1,000mの花 き団地、里親			
10時45分 ～12時	【新規就農者 調査】田沢圃場	上原幸大氏(雨天 の場合は役場研修 室)			
12時15分 ～13時	(昼食) 役場2階研修室			弁当 23食 500円	青木村観光ビデオ
13時 ～13時40分	【調査】役 場 2階研修室	青木村の農業を知 る 清水M		PowerPoint	
14時 ～14時40分	道の駅あお き	道の駅調査・買物			
14時40分 発	青木村出発				
14時40分 発	(解散) 上田駅お城口				
15時30分 着					

別添 3

: 東京農業大学 信州・青木村セミナー 進行表

東京農業大学 信州・青木村セミナー進行表

日時：平成31年2月14日（木）午前9時～正午

場所：青木村文化会館 2階講堂

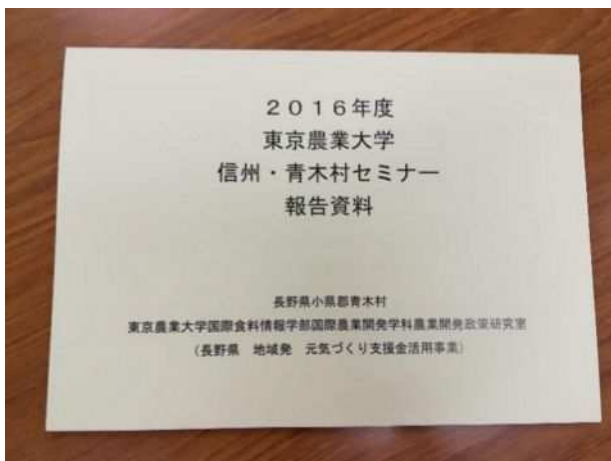
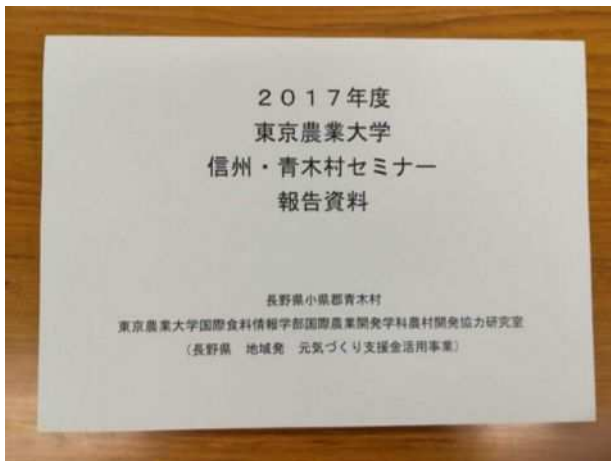
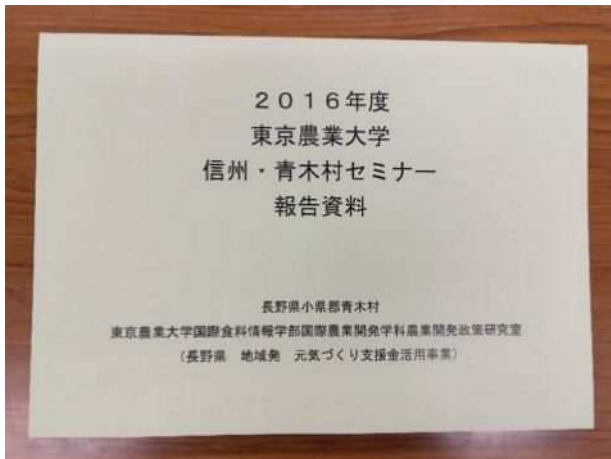
- | | | |
|-------------|---|---------------|
| 1 開 会 | （進行：花見参事兼建設農林課長） | 9：00 |
| 2 挨拶 | | |
| (1) | 北村村長 | 9：00 |
| (2) | 東京農業大学 農村開発協力研究室 山田隆一教授 | 9：15 |
| 【司会進行】 | 石井萌々子、山田澗花（3年） | 9：20 |
| 3 交流の経過 | （石井萌々子3年） | |
| 4 調査・研究報告 | | 9：40 |
| (1) | （四戸美希（4年））「地域における漬物」 | |
| (2) | （塩崎萌子（4年））「利用者アンケートから見る道の駅あおきの課題と展望」 | 10:00 |
| (3) | （井上裕貴（4年））「長野県青木村における地域組織を通じた福祉づくり」 | 10：20 |
| 【休憩】 | | （10：40～10：50） |
| (4) | 日本一住みたい村青木村で未来の農村を考えてみた！
（木村恒太、菅原悠花（3年）） | 10：50 |
| (5) | 青木村産100%えごま油「青葉のしずく」の報告（清水M） | 11：20 |
| 【司会進行】 | 花見参事兼建設農林課長 | |
| 5 今後の交流について | （意見交換、村民の皆様からのご要望など） | 11：25 |
| 6 閉 会 | （花見参事兼建設農林課長） | 11：50 |
| 【会場準備】 | | （11：50～12：10） |
| 【昼食パーティー】 | | 12：10～午後1時 |
| (1) | 開 会（司会・進行 花見参事兼建設農林課長） | |
| (2) | 挨拶と乾杯（沓掛議長） | |
| (3) | 交 流 | |
| 12：30頃 | | |
| ① | 受入農家からひと言（宮下副議長、金井とも子、道の駅あおき、堀内巡子、清水香志子、遠藤ご夫婦、田中紀子、上原幸大、NPO 平林） | |
| ② | 卒業生の自己紹介と卒業に当たっての抱負。 | |
| 12：45頃 | | |
| ③ | 研修受入農家・調査協力者・組織・団体の皆様へのお礼と今後の協定発展に向けた学生代表によるエール | |
| 【登壇者】 | 村長、議長、受入農家 | |
| ④ | 受入農家を代表して田中紀子さんから激励の言葉 | |
| ⑤ | 閉 会（司会・進行 花見参事兼建設農林課長） | |

記念写真 13：00

別添 4 : えごま油



別添5：研究報告書・写真集



東京農業大学 青木村調査研究 実績集

長野県 小県郡 青木村
東京農業大学 国際食料情報学部
国際農業開発学科農村開発協力研究室
(長野県 地域発 元気づくり支援金活用事業)

東京農業大学生が見つけた 信州・青木村の宝

～青木村が日本一住みたい村に選ばれたわけ～



信州・青木村
日本一住みたい村



農
東京農業大学